

望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方  
～正しい判断のもと主体的に行動できる生徒の育成を目指して～

日立市立久慈中学校

## 1 はじめに

本校のスローガンである「一人一人が輝き 笑顔と元気があふれる学校」を受け、生徒会では「挑戦～個性（よさ）が輝きみんなが活躍する学校～」を掲げて本年度活動が始まった。久慈中学校は、生徒会役員と各学級の委員長・副委員長で構成される中央委員会が中心となって、様々な行事の企画や運営を行っている。行事を企画・運営するにあたっては、前年度までのよさを継承するとともに、より充実し、生徒の活躍の場を増やすことができるよう改善を図りながら計画した。

## 2 資料（実践事例、写真等）

### (1) 生徒総会・いじめ撲滅絆プロジェクト

#### ア 生徒総会

生徒総会では、生徒会や各専門委員会の委員長が年間の活動目標や活動方針を発表した。全校生徒の前で発表する機会を設けることで、一人一人が自らの立場を自覚し、主体的かつ責任ある行動につなげることができた。また、生徒会長より「清掃への取り組み」と「登校靴の色」について各学級で話し合いを行うよう呼びかけた。学校生活のルールや校則について全校生徒で考え改善していく経験を通して、生徒一人一人が生徒会の一員であるという自覚をもち、よりよい学校生活を作り上げていこうという意識を高めることができた。



#### イ いじめ撲滅プロジェクト

各学級で作成した「いじめ撲滅スローガン」を作成理由とともに中央委員が発表した。スローガンの作成や発表を通して、「いじめは絶対に許さない」という思いを全校で共有し、いじめ撲滅への意識を高めることができた。



### (2) 黒潮祭（文化祭）

本校の文化祭は、学習発表の部、合唱コンクールの部、KJH発表の部（有志特技発表）で構成されている。学習発表では、黒潮タイム（総合的な学習の時間）で実施しているソーラン踊りや黒潮太鼓、制作した作品等を発表したり、英語プレゼンテーションフォーラムや研修の報告をしたりしている。また、KJH発表では、自分の得意なことや仲間と練習してきたことの成果を発表し、大いに盛り上がった。生徒の発表の場を増やしていくことで、個性（よさ）が輝き多くの生徒が活躍する機会となり、生徒会のスローガンを実現することができた。

## 3 成果と課題

教師間の情報共有を計画的に行い、活動の見通しをもつことで、生徒が主体的に考え実践する場面を増やすことができた。また、生徒自身も一つ一つの行事や活動に対して達成感や充実感を得ることができた。

来年度の統合に向けて、行事实施の意義を再考し精選していく必要がある。また、生徒会活動においても ICT を有効に活用し、効率的に進めていくことができると考える。